



HULFT Square アップデート

リリース機能説明会

HULFT Square アップデート リリース内容・機能の説明について 2024.2 (2024年10月) 2024.1.1 (2024年7月)

新機能

HULFT Square リンク Ver.2

(2024.2)

FTPサービス

(2024.1.1)

HULFT Square コネクター for Amazon Web Services

・ Amazon Athena接続
(2024.1.1)

VPNサービス

(2024.1.1)

改善機能

RESTコネクター

・ 証明書取り扱い改善

(2024.2)

その他 機能改善

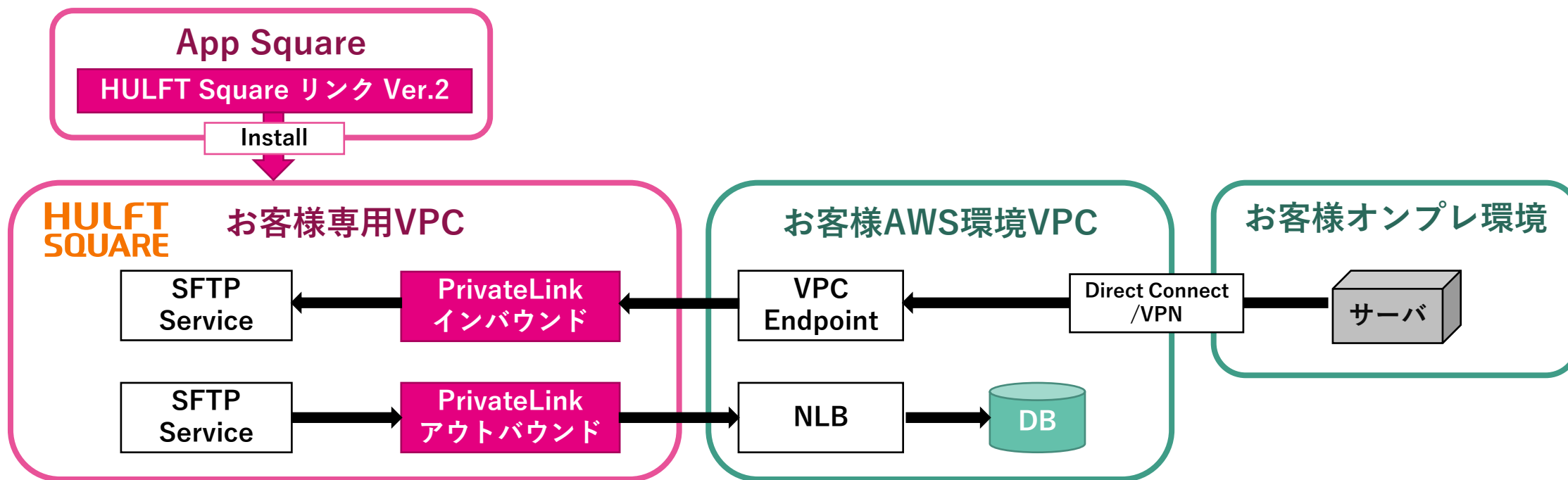
4件

HULFT Square アップデート 2024.2

HULFT Square リンク Ver.2

SFTPサービスに対応するHULFT Squareリンク Ver.2をリリースしました！

- SFTPサービスにPrivateLinkでの接続が可能
- 業務要件で閉域網が必要なお客様が、HULFT Square リンク Ver.2と組み合わせることでSFTPサービスを利用可能



HULFT Square リンク Ver.2

- HULFT Square リンク Ver.2を利用しているHULFT Squareサービスを可視化
- PrivateLinkの設定ページが1か所にまとめてあり、利便性が向上
- PrivateLinkを使用することで外部からの攻撃を防ぎ安全な通信が可能
- PrivateLinkの接続許可を1つずつ確認して承認することが可能

◆ 設定方法

App Square、または、
メイン>アプリケーション>全て、から
「HULFT Square リンク」をインストール

アプリケーション>
全て

+ 追加

HULFT Square リンク

HULFT Square リンク Ver.2 を使用すると、HULFT Square で AWS PrivateLink 接続を簡単に管理できるようになります。このアプリ...

Saison Technology Co.,Ltd.

Ver. 2.0.0

Native Appli...

✓ インストール

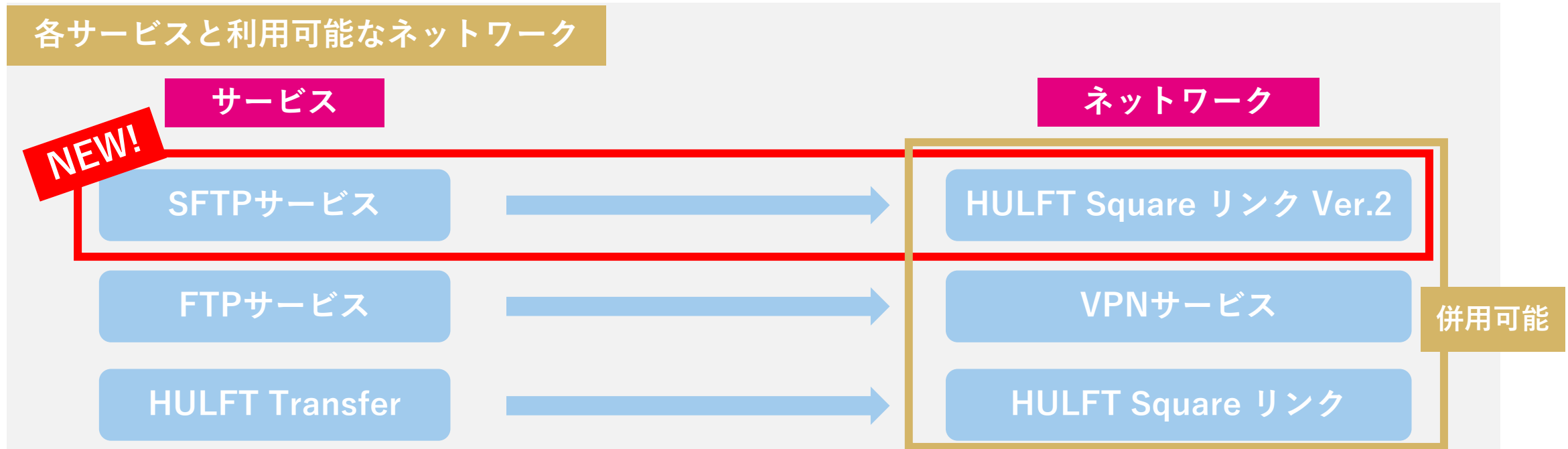
詳細

設定>ネットワーク>PrivateLink、から
「インバウンド」や「アウトバウンド」を設定

- 「HULFT Square リンク」のインストール時に、PrivateLink関連のポリシーがHULFT Squareに追加されます
詳細はHULFT Square リンク右下の[詳細]にありますので、適宜設定してご利用ください

HULFT Square リンク Ver.2

- 現状の注意点
 - SFTPサービスにPrivateLinkで接続する場合、HULFT Square リンク Ver.2必須
 - HULFT Square リンク Ver.2ではHULFT TransferにPrivateLinkで接続できない
※HULFT Square リンクが必須
 - 各サービスと利用可能なネットワークは固定
 - HULFT Square リンク Ver.2の契約が必要

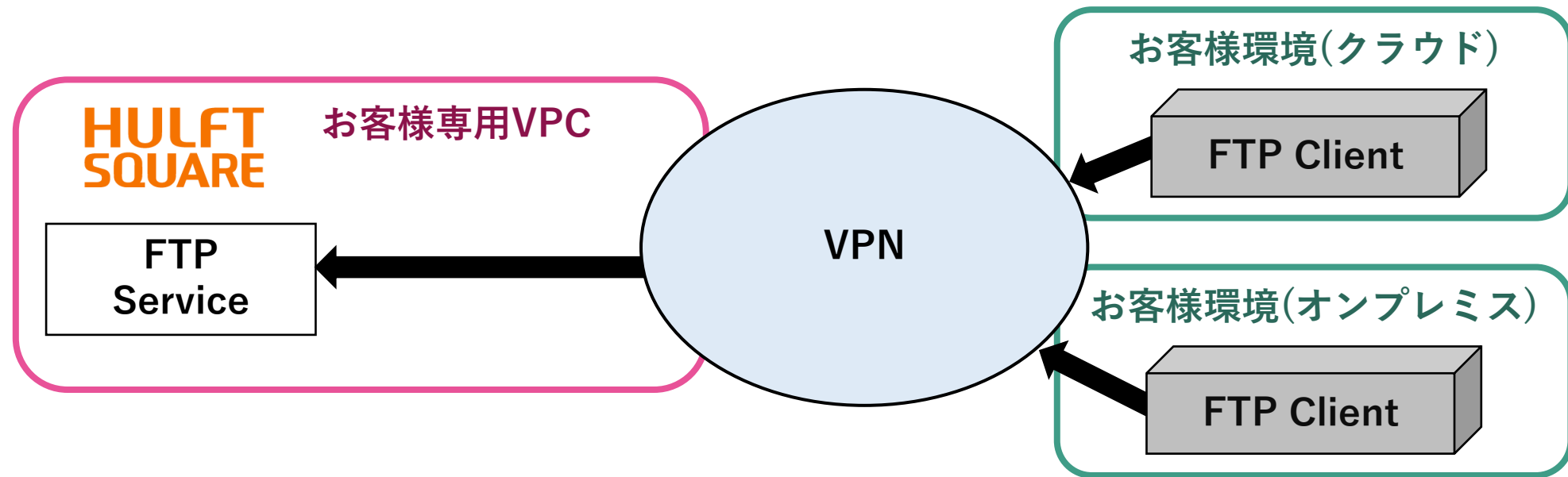


HULFT Square アップデート 2024.1.1

VPNサービス / FTPサービス

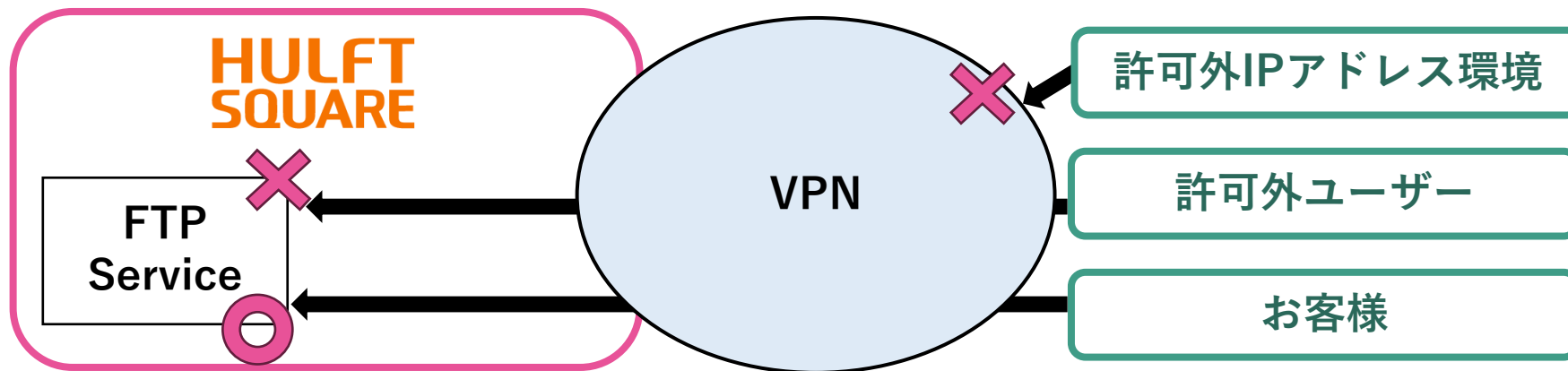
VPNサービスとFTPサービスをリリースしました！

- HULFT SquareのFTPサービスにVPN経由で接続しファイル転送が可能
例) オンプレミスにあるFTP Clientから直接HULFT Squareに接続しファイルを転送



VPNサービス / FTPサービス

- HULFT Squareとオンプレミス間のファイル転送が容易に実現可能
 - ・ FTPサービスは、PrivateLink接続、DirectConnect接続が不要
 - ・ FTPサービスへの接続はHULFT Transfer、SFTPよりも手間をかけずにファイル転送が可能
- VPNとFTPの2段階で接続を制限し、セキュリティリスクを低減
 - VPN
 - ・ VPNサービスに接続可能なクライアントをIPアドレス許可リストで制限
 - ・ VPNサービスに接続可能なユーザーを管理
 - FTP
 - ・ FTPサービスはVPNサービス経由でのみ接続
 - ・ FTPサービスに接続可能なユーザを管理



VPNサービス / FTPサービス

- 注意点

- ・ VPNサービス / FTPサービスはそれぞれご契約が必要
- ・ VPNサービス / FTPサービスはご契約後にApp Squareからインストール
- ・ FTPサービスの設定前にVPNサービスの作成が必要

HULFT
SQUARE

FTPサービス

VPNサービス

お客様環境

HULFT Square アップデート 2024.1.1

HULFT Square コネクター for Amazon Web Services

-Amazon Athena接続を追加-

HULFT Square から Amazon Athena へ接続可能になりました！

●Amazon Athena:

- Amazon S3に保存している多量のデータをAmazon Athenaで抽出可能

●HULFT Square:

- Amazon Athenaをテーブルに見立てたデータ取得やSQL検索が可能
- 取得したデータをBIツールに連携することで可視化する手間を削減

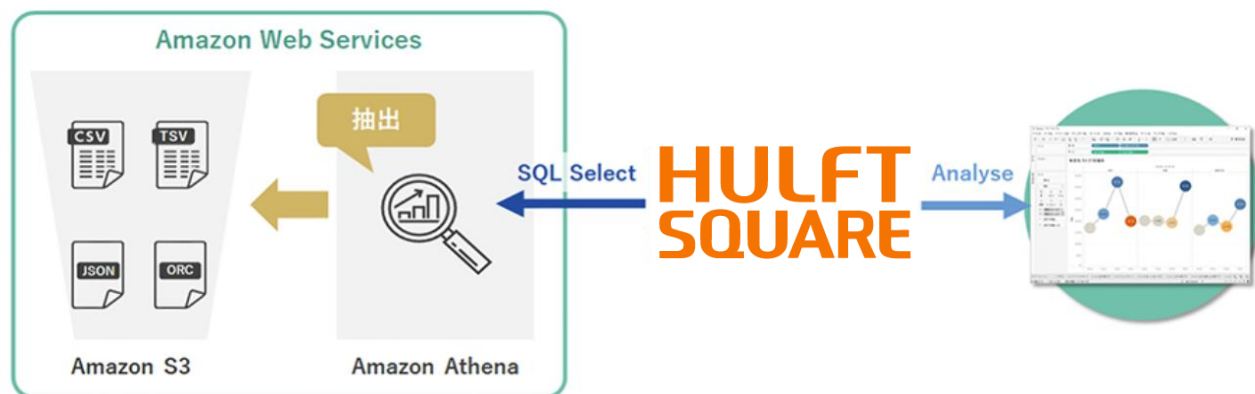
HULFT Square コネクター for Amazon Web Services

Before



多種多様なデータを蓄積しているS3から
ファイルを取得し、データ加工をして
分析基盤へ連携

After



Amazon Athenaへのコネクターを用いて、
ANSI SQLのクエリを使用したデータの
抽出を行うため、検索効率が向上

HULFT Square アップデート 2024.2

REST コネクター 証明書取り扱い改善

REST コネクター 証明書取り扱い改善

自己証明書を利用しているサーバーに
RESTコネクターで接続できる機能を追加しました！

- RESTコネクターでサーバーに接続する際のサーバー証明書の検証を無効化
- 開発中のサーバーや社内ネットワーク内のサーバーで自己証明書を利用する際に接続可能

！
サーバー証明書検証の無効化により**セキュリティリスクが高まる**可能性がある
中間者攻撃やフィッシング攻撃、セッション乗っ取りによるデータ盗聴等がある

HULFT Square アップデート

その他 機能改善

その他 機能改善

● アプリケーションの改善 (2024.1.1)

- スクリプトを含むネイティブアプリケーションにおいて、スクリプトの確認可能
- 再配布可能なアプリケーションに[クローンと編集]の追加
[クローンと編集]を利用すると、アプリケーションを複製・別アプリケーションとしての編集が可能

● コネクタの改善

HULFT Squareで接続可能なバージョンの拡充 (2024.1.1)

- Amazon Aurora for MySQL 8.0
- Amazon RDS for PostgreSQL 15
- SQL Server 2022

HULFT Squareで利用しているドライバーのバージョンの更新 (2024.2)

- SnowflakeコネクタのJDBCドライバー
- Amazon RDS for SQL Server 2017ドライバー

その他 機能改善

● 通知の改善 (2024.1.1)

アプリケーションのインストール/アンインストール時、テスト実行完了時に通知

● ログの改善 (2024.1.1)

HULFT Transferサービスのログにプロファイルを表示
[フィルタを追加]にて”プロファイル名”を追加

※画面上でプロファイルも確認可能

- ・ ネイティブアプリケーション
SFTPサービス/FTPサービス/VPNサービスの
ログを出力する機能を追加

※各サービス作成時にログ出力設定（[保管先ワークスペース]と[オーナー]）が必要

サービス>

HULFT Transfer

+ フィルタを追加

実行ID	ステータス	ファイルID	転送の方向	ホスト名	プロファイル名
██████████	✓	██████████	↓ インバウンド	██████████	Default
██████████	✓	██████████	↓ インバウンド	██████████	Default
██████████	✓	██████████	↓ インバウンド	██████████	Default

◆ その他リリース機能、詳細はリリースノートをご確認ください

<https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFTSquare/Content/TOP/releasenote.htm>



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。